

第20回

# とくしま文学賞

## 作品募集

●募集締切 2022年9月30日(金) 当日消印有効

●募集部門・選考委員(50音順敬称略)

小説 松浦理英子

脚本 ふじたあさや

文芸評論 依岡隆児

児童文学 くすのきしげのり

随筆 佐々木義登

現代詩 清水恵子

短歌 紀野恵・佐藤恵子・竹安隆代・松田一美

俳句 岩田公次・戎谷利公・上窪青樹・谷中隆子

川柳 西池冬扇・福島せいぎ・船越淑子・山田譲太郎

連句 土橋旗一・徳長怜・中尾住吉・福本清美

梅村光明

●賞

部門ごとに最優秀・優秀・佳作を入賞とし、

最優秀のみ副賞を贈呈します。

小説・脚本・文芸評論・児童文学 副賞5万円(各1点)

随筆・現代詩・短歌・俳句・川柳・連句 副賞2万円(各1点)

●応募先

〒770-0807 徳島市中前川町2丁目22-1

県立文学書道館「とくしま文学賞」係

●主催

徳島県・徳島県立文学書道館

Tokushima  
Literary  
Awards.



# とくしま文学賞 2022 Tokushima Literary Awards.

## 応募要領

- 徳島県内在住者または徳島県出身者に限ります。
  - 未発表の作品に限ります。同人雑誌などに投稿し、活字として掲載された作品は応募できません。
  - 「小説・脚本・文芸評論・児童文学・随筆」部門は、400字詰め原稿用紙に縦書き。下記①～⑦を別紙に明記し、作品とともに右肩を綴じてください。ワープロ使用の場合はA4用紙横に40字×30行で縦書きし、400字詰め原稿用紙換算の枚数を下記①～⑦とともに別紙に明記してください。
  - 「現代詩・連句」部門は、400字詰め原稿用紙に縦書き。ワープロ使用の場合はA4用紙横に20字×20行で縦書き。下記①～⑦を別紙に明記し、作品とともに右肩を綴じてください。
  - 「短歌・俳句・川柳」部門は、官製ハガキに作品とともに下記①、③～⑦をご記入ください。
- ①応募部門 ②題名(短歌・俳句・川柳を除く) ③住所 ④氏名(ペンネーム・雅号を使用する場合は本名も記入)  
⑤年齢 ⑥職業(児童・生徒は学校・学年) ⑦電話番号

部門	原稿用紙(400字詰め)	ワープロ(A4用紙横に縦書き)	官製ハガキ	応募数
小説	50枚以内	1ページ 40字×30行		1人1編
脚本	100枚以内	1ページ 40字×30行		1人1編
文芸評論	20枚以内	1ページ 40字×30行		1人1編
児童文学	20枚以内	1ページ 40字×30行		1人1編
随筆	5枚以内	1ページ 40字×30行		1人1編
現代詩	2枚以内	1ページ 20字×20行		1人1編
短歌・俳句・川柳			1枚	1人2首もしくは2句以内
連句(形式自由)	2枚以内	1ページ 20字×20行		1グループ1編

- 応募された作品の訂正・差し替え・返却はできません。
- 類想、類句については賞を取り消すことがあります。

## 発表

12月中旬を予定(新聞紙上、文学書道館ロビーおよびホームページ)

## 作品集

各部門の入賞作品を「文芸とくしま」に収録(2023年2月中旬発行予定)

## 選考委員プロフィール

### ●小説・松浦理英子

1958年、愛媛県松山市生まれ。青山学院大学フランス文学科卒。78年「葬儀の日」で文学界新人賞を受賞しデビュー。94年『親指Pの修業時代』で女流文学賞、2008年『犬身』で読売文学賞、17年『最愛の子ども』で泉鏡花文学賞を受賞。小学校6年から中学2年までの3年間、徳島市で暮らした。

### ●脚本・ふじた あさや

劇作家。1953年、福田善之氏との合作「富士山麓」でデビュー。仮面劇場・三十人会で劇作、演出にあたる。73年からフリーとなり、前進座、文化座、青年劇場などに戯曲を提供する一方、児童青少年演劇、音楽劇などの脚本・演出も手がける。作品に『しのだづま考』(92年文化庁芸術祭賞受賞)など、日本劇作家協会顧問。

### ●文芸評論・依岡隆児

徳島大学総合科学部教授。専門はドイツ文学、比較文学・比較文化学。著書に『ギュンター・グラスの世界—その内省的な語りを中心に』『読書のススメ—四国から、グローバルに』『ギュンター・グラス〜「渦中」の文学者』『四国グローバル〜日本とドイツの文化交流から』、訳書にギュンター・グラス『玉ねぎの皮をむきなごら』など。

### ●児童文学・くすのきしげのり

児童文学作家。『おこだでませんように』が2009年度、『メガネをかけたら』が13年度の青少年読書感想文コンクール課題図書に選ばれる。『ええところ』『ともだちやもん、ぼくら』『ダメ!』など教科書採用作品をはじめ日本および海外で著書多数。11年に阿波文化創造賞、16年にとくしま芸術文化賞を受賞。

### ●随筆・佐々木義登

作家、四国大学文学部教授。2007年、「青空クライシス」で三田文学新人賞を受賞。著書に『郷里』。「阿波しらさぎ文学賞」「四国大学富士正晴全国高校生文学賞」「四国大学瀬戸内寂聴青春エッセイコンクール」選考委員。13年、とくしま芸術文化奨励賞を受賞。徳島文学協会会長。「三田文学」に「新同人雑誌評」を連載。

### ●現代詩・清水恵子

詩人。1995年、詩集『あびてあびて』で日本詩人クラブ新人賞、2002年、詩集『あつあつ』で徳島県出版文化賞特別賞を受賞。徳島新聞「徳島詩壇」選者。徳島新聞カルチャーセンター詩の通信講座講師。日本ペンクラブ会員。日本文芸家協会会員。日本現代詩歌文学館評議員。他の詩集に『ぎざぎざ』『駄駄』など。

### ●短歌・紀野 恵

「七曜」会員。「未来」選者。徳島新聞「徳島歌壇」選者。角川短歌賞次席及び短歌研究新人賞次席。歌集に『白猫倶楽部』『唐唐使のものがたり』など。

### ●短歌・佐藤恵子

「徳島歌人」主宰。著書に歌集『帰郷』『琵琶の橋』『風の峠』『山麓の家』、評伝『生田花世』など。

### ●短歌・竹安隆代

「雲珠」編集・発行人、現代歌人協会会員。徳島新聞「徳島歌壇」選者。歌集に『風樹』『山はみな火に燃えて』『流氓の海』『雨過天青』など。

### ●短歌・松田一美

「玲瓏」編集委員。1991年から歌人・塚本邦雄に師事する。徳島新聞「徳島歌壇」選者。「飛行船」同人、県連句協会理事。歌集に『あはでこがる』がある。

### ●俳句・岩田公次

「祖谷」主宰。ホトギス同人。日本伝統俳句協会理事、四国支部長。日本現代詩歌文学館振興会評議員。

### ●俳句・戎谷利公

「松苗」主宰。毎日新聞「徳島俳壇」選者。俳人協会会員。徳島県俳句連盟大会選者。

### ●俳句・上窪青樹

「風嶺」主宰。徳島新聞「徳島俳壇」選者。現代俳句協会理事。藍住町文化協会会長。徳島ペンクラブ副会長。句集に『月光仮面』がある。

### ●俳句・谷中隆子

「藍花」主宰。徳島新聞「徳島俳壇」選者。俳人協会評議員、俳人協会徳島県顧問。句集に『冬椿』『くれなゐに』『花蓼』『花籠』『花樽』など。

### ●俳句・西池冬扇

「ひまわり」会長。日本俳人クラブ会長、俳人協会評議員。徳島新聞「徳島俳壇」選者。「俳句界」雑誌欄選者。句集『碇星』『彼此』、評論『高浜虚子・未来への触手』など。

### ●俳句・福島せいぎ

「なると」主宰。徳島新聞「徳島俳壇」選者。句集『台湾優遊』で台湾俳句文学賞受賞。著書『古玩愛賞』でとくしま出版文化賞特別賞受賞。

### ●俳句・船越淑子

「青海波」主宰。徳島県現代俳句協会会長、日本俳人クラブ副会長、徳島ペンクラブ副会長、日本現代詩歌文学館振興会評議員。句集に『追羽根』『神楽舞』『遊月』。

### ●俳句・山田謙太郎

「航標」主宰。徳島新聞「ヤングカルチャー季節のひとかけら」選者。俳人協会会員。句集に『櫻風記』『幻絃』がある。

### ●川柳・土橋旗一

県川柳作家連盟会長。「川柳阿波」編集発行人。徳島新聞「徳島柳壇」「ジュニア川柳」選者。

### ●川柳・徳長 怜

ふあうすと川柳社同人理事。読売新聞「阿波文芸」選者。徳島市老人クラブ連合会「文芸ひろば」選者。

### ●川柳・中尾住吉

「川柳さんぼみち」創刊代表。川柳鳴峽会同人。県老人クラブ連合会「読者文芸」選者。

### ●川柳・福本清美

全日本川柳協会理事、番傘川柳本社幹事同人。徳島新聞「徳島柳壇」選者。

### ●連句・梅村光明

詩人。徳島県連句協会会長。日本連句協会理事。日本現代詩歌文学館評議員。国民文化祭全国連句大会福井2005・山口2006・静岡2009・奈良2017各大会受賞。徳島2007・鹿児島2015・大分2018・和歌山2021各選考委員。

言の葉ミュージアム

## 徳島県立文学書道館

〒770-0807 徳島市中前川町2丁目22-1 TEL 088-625-7485 FAX 088-625-7540 ホームページ <http://www.bungakushodo.jp>